

# うちどく

夏休みはうちどくで  
コミュニケーション!

しょう 2022

—かほく市学校司書部会—

## 「うちどく(家読)」とは?

「家庭読書」の略で「家族ふれあい読書」を意味します。現在、かほく市の子どもたちは学校での朝読書などを通じて読書にとっても親しんでいます。それをさらに家庭でも実践してみたいかがですか。家族と一緒に読書をするのをきっかけに、家庭内のコミュニケーションを深めることを目的とした取り組みです。

## いつ、どのように行えばいいの?



家庭で空いている時間にいつでも行えますし、食後や寝る前、などと時間を決めておく  
と取り組みやすいです。

本も、身近にあるものや好みのものなど、決まりはありません。  
今回はここまで、と範囲を決めて行ってもよいかもしれません。

(読み物に限らず、絵本や新聞、図鑑なども選んでみてはいかがでしょうか)



## うちどくの良いところは何か?

### 家族で仲良くなれる

- ・共通の話題ができることで、会話が生まれる。
- ・親の想いや願いを伝えられる。
- ・子どもの心が安定し気持ちのゆとりができ、会話ができる。

### 感性が磨かれ、想像力が育つ

- ・心の引き出しが増える。
- ・友だち、他人の気持ちを推し量れるようになる。
- ・1冊の本を読み通すことで、達成感を味わって我慢強さも生まれる。

### 語彙力や集中力がアップする

- ・ことばの感覚が鋭くなる。
- ・漢字が読めるようになる。
- ・集中力がつく。
- ・耳からの読書(読み聞かせ)で、人の話が聞ける子になる。

### 一生涯の宝となる読書の力が身につく

- ・読書が習慣化する。
- ・一緒に読書する楽しみが増える。
- ・好きな本、良い本を自分で発見できるようになる。
- ・広い視野で物事を捉えられるようになる。

うちどくおすすめリストも参考にしな!



おすすめリストに掲載されている本は  
学校や中央図書館にあります。